

報告第 1 号

「夏休み小学生 50 円バス」の実施に伴う運賃の変更について

1 「夏休み小学生 50 円バス」の事業概要

(1) 事業の目的

夏休み期間中に東三河地区の路線バスのこども運賃を 1 乗車 50 円とすることにより、小学生の路線バスの利用を促進し路線バスの活性化を図ることを目的とする。

(2) 対象路線

① 路線バス

事業者名	適用範囲・適用条件等
豊鉄バス（株）	高速バスを除く全線
名鉄バス（株）	蒲郡市内の全線

② コミュニティバス

豊橋市（「地域生活」バス・タクシー）、豊川市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村のコミュニティバス

※コミュニティバスのうち、小学生の運賃が 50 円未満である場合は、この事業の実施に伴う運賃の変更はありません。

2 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会における報告の内容

(1) 報告対象路線

事業者名	路線名
豊鉄バス（株）	新豊線、豊川線及びレイクタウン線
東海交通（株）	・ 東部東山線（「地域生活」バス・タクシー（東部地区）） ・ 梅薮前芝線（「地域生活」バス・タクシー（前芝地区）） ・ 細谷二川系統、細谷イオン系統、小沢二川系統、 小沢イオン系統（「地域生活」バス・タクシー（南部地区）） ・ 川北線（「地域生活」バス・タクシー（川北地区））
豊鉄タクシー（株）	・ 北部石巻西川・賀茂線、北部下条・森岡線 （「地域生活」バス・タクシー（北部地区）） ・ 高根芦原系統、豊南大清水系統 （「地域生活」バス・タクシー（南部地区））

(2) 運賃を変更する期間

令和 7 年 7 月 19 日（土）～ 8 月 31 日（日）

(3) 運賃を変更する内容

対象路線のこども運賃を乗車区間にかかわらず、1 乗車 50 円とする。

ただし、この変更を適用した運賃の支払いは現金のみとし、障害者割引等その他の割引制度は適用しないものとする。

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
【戦 略 1】 公 共 交 通 幹 線 軸 の 強 化	【取組み1－1】 幹線バスの高規格化						
	1	バス路線の維持、再編・見直し			○	【豊橋市】 幹線バス維持のため、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導として、「歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金」を交付。令和6年度は新規の認定を253件行った。 【豊鉄バス株式会社】 ・労働基準の改善や利用状況に応じ、レイクタウン線、二川線、牛川金田線、飯村岩崎線において、適切な本数へと変更(減便)を行った。その結果、運転手のインターバルが増加し、適切な労働環境の確保に繋がった。 ・ <u>豊橋技科大線「道の駅とよはし」への延伸を行い、利用者の増加を図った。</u> ・道の駅とよはしとの調整により三本木線を、近隣高校への登校に合わせて牛川金田線、西口線の運行時刻の見直しを行い利用者の利便性の向上を図った。	【豊橋市】 引き続き、「歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金」を交付し、幹線バス沿線への居住誘導を進める。 【豊鉄バス株式会社】 <u>豊橋和田辻線において区画整理に伴うルート変更を実施する。</u>
	2	運行時間帯の拡大			○		【豊鉄バス株式会社】 最終便の延長については、要因状況や需要を鑑みて判断していく。
	3	運行本数の増便			○	【豊鉄バス株式会社】 ・労働基準の改善や利用状況に応じ、レイクタウン線、二川線、牛川金田線、飯村岩崎線において、適切な本数へと変更(減便)を行った。その結果、運転手のインターバルが増加し、適切な労働環境の確保に繋がった。	【豊鉄バス株式会社】 運行本数の増便については、要因状況や需要を鑑みて判断していく。
	4	バス専用・優先レーンの拡充			○	【豊鉄バス株式会社】 利用者、事業者の双方において、バスロケーションシステムでのバス停の通過時刻の確認ができるようにした。 【警察】 豊橋駅前から台町間の上りで優先レーンを実施している。	【豊鉄バス株式会社】 慢性的に遅延している路線や系統について、引き続き把握する。
	5	公共交通優先システムの導入(信号制御など)			○	【豊鉄バス株式会社】 利用者、事業者の双方において、バスロケーションシステムでのバス停の通過時刻の確認ができるようにした。	【豊鉄バス株式会社】 慢性的に遅延している路線や系統について、引き続き把握する。
	6	路線バス遅延箇所の対策			○	【豊鉄バス株式会社】 利用者、事業者の双方において、バスロケーションシステムでのバス停の通過時刻の確認ができるようにした。 【愛知県】 ・天津交差点の交差点改良事業が完了した。 ・小松原街道線の用地買収及び用地測量を実施。 ・岩屋町西交差点の交差点改良事業を実施。 ・豊橋環状線の瓦町交差点及び東田交差点は検討を実施。 【国土交通省】 R2事故ゼロプラン箇所(三ノ輪町地区)について、引き続きモニタリングを実施した。	【豊鉄バス株式会社】 ・慢性的に遅延している路線や系統について、引き続き把握する。 【愛知県】 ・小松原街道線は用地買収及び用地測量を実施。 ・岩屋町西交差点の交差点改良事業を実施。 ・豊橋環状線の瓦町交差点及び東田交差点は検討を実施。 【国土交通省】 R2事故ゼロプラン箇所(三ノ輪町交差点)について、引き続きモニタリングを実施していく。
	7	バス停施設の改善			○	【豊鉄バス株式会社】 ・三菱ケミカル口(上)、豊岡中学校前(上)、西小鷹野(上)の照明の修繕を行った。 ・牛川(上)の上屋シート張替えを行った。	【豊鉄バス株式会社】 利用状況や待合いの環境状況に応じ、バス停の改修等を検討していく。
	8	バリアフリー車両の導入促進			◎	【豊鉄バス株式会社】 ・高速乗合バス車両を除く全営業所の路線バス車両において、車椅子の乗降に対応済。	【豊鉄バス株式会社】 ・今後導入車両も継続してバリアフリー化を図る。
	9	市民の利用意識の醸成			○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 バス乗り方教室の開催(富士見小、多米校区(高齢者向け))。 【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・ <u>豊鉄グループ100周年イベントとして、豊橋のまちづくりと公共交通を考える「タウンミーティング」を開催した。</u> 【各交通事業者、豊橋市】 ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。 ・ <u>公共交通の利便性や快適性を知ってもらうため、「公共交通RUNとよはしロゲイニング」を開催した。</u> 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 <u>電車・バス沿線周遊マップの新規エリア(愛大前・藤沢エリア、赤岩口・岩田エリア)の作成。</u> 【豊橋市】 ・ <u>子育て世代の利用促進のため「とよはし子育て応援電車・バス」「絵本の駅」「電車・バスお出かけ講座＆おはなし電」を開催した。</u> ・カーフリーデーや公共交通RUNとよはしロゲイニングで、「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」を周知した。 ※資料2で説明済み	【各交通事業者、豊橋市】 利用促進等を通じて情報発信し、利用者増に繋がるようにしていく。 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 <u>電車・バス沿線周遊マップの新規エリアの作成。</u> 【豊橋市】 ・「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」を周知し、市民が過度に自家用車に頼ることなく移動することの意識醸成を図っていく。 ・引き続き、各種イベント等を開催し、市民の利用意識の醸成を図っていく。
	1001	運転士確保に向けた取組みの推進			○	【豊鉄バス株式会社】 会社説明会の積極的な開催(概ね3か月毎)、愛知県バス協会主催の運転士募集イベントに出展、HP上でのディスプレイ広告・リスティング広告・SNSによる広告、豊橋市と連携した運転体験会に参画。 【愛知県タクシー協会】 ・国土交通省が創設した、「女性ドライバー応援企業」の活用とPR。 ・国土交通省が創設した、「働きやすい職場認証制度」で、一つ星、二つ星を継続。 (東海交通株式会社／二つ星取得 ・豊鉄タクシー株式会社／一つ星取得 ・ヨシダ交通株式会社／一つ星取得) 【豊橋市、愛知県タクシー協会、豊鉄バス株式会社】 「令和6年度運転士確保支援事業」の実施。	【豊鉄バス株式会社】 ・R6年度の実施事項は引き続き行い、豊鉄バスで働くメリットを訴求するためのショート動画などを掲載するなどの採用HPの改修を行う。また、運転体験会では、告知を強化し参加者の増加に努める。 ・就業規則を改正し、再雇用者の雇用延長を行う。 ・ <u>沿線行政や学校関係との連携を強化し、更なる雇用の確保を目指す。また、外国人採用の強化や従業員の処遇改善を行っていく予定。</u> 【愛知県タクシー協会】 ・引き続き「働きやすい職場認証制度」で、二つ星、三つ星を取得する。 ・引き続き「女性ドライバー応援企業」の活用とPRしていく。 ・運賃改定や賃金体系の変更を行い(各事業者毎)労働条件を良くすることで応募数を増やす。 【豊橋市、愛知県タクシー協会、豊鉄バス株式会社】 ・引き続き「令和6年度運転士確保支援事業」を実施していく。
	10	路線バスに対する公共補助、見直し			○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 路線バス利用促進事業の実施により、生活交通路線維持ができた。 【豊橋市、東三河の関係自治体】 <u>路線バスのサービス水準の確保や処遇改善繋げるため、路線バス事業者への支援拡充の検討を行った。</u>	【豊鉄バス株式会社】 各行政機関の公共交通担当部署と連絡を密に行っていく。 【豊橋市、東三河の関係自治体】 <u>拡充した路線バス運行対策補助金により、路線バス事業者へ支援を行う。</u>
	11	交通システムの高度化の検討			○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 乗降調査の実施等、乗客の動向の調査。	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 乗降調査の実施等、乗客の動向を注視していく、また、IC導入によるデータ構築をした上で利用実態調査を行っていく。
	【取組み1－2】 路面電車・渥美線の機能の維持・強化						
	12	駅・停留場のバリアフリー化の促進			○	【豊鉄鉄道株式会社】 令和6年度以降の予定を検討、計画。 利用者(人/日) 高師駅2,568、大清水2,691 豊橋鉄道創立100周年記念イベントやコロナ渦の回復により昨年度より増加。	【豊鉄鉄道株式会社】 令和7年度以降の予定を検討、計画。
	108	バリアフリー車両の導入促進			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
	13	駅・停留場施設の改善			○	【豊鉄鉄道株式会社】 令和6年度以降の予定を検討、計画。 利用者(人/日) 高師駅2,568、大清水2,691 豊橋鉄道創立100周年記念イベントやコロナ渦の回復により昨年度より増加。	【豊鉄鉄道株式会社】 令和7年度以降の予定を検討、計画。

調査検討

整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

調査検討
 整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

【報告第2号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(2／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
	【取組み1－2】路面電車・渥美線の機能の維持・強化						
【戦略1】公共交通幹線軸の強化	14 15	軌道敷の改修 路面電車施設の更新			○	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、豊橋市】 交付金事業 ・軌道敷改修 一般部下り線(56m) 東田～競輪場前間 ・年度計画に基づく、その他通常保守修繕を実施 【豊橋鉄道株式会社】 ・路面電車の車両設備の更新を実施	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、豊橋市】 交付金事業 ・軌道敷改修 一般部上り線(45m) 東田～競輪場前間 ・年度計画に基づく、その他通常保守修繕、改修更新工事を実施 【豊橋鉄道株式会社】 ・交差点部軌道敷改修計画の再検討 ・路面電車の車両設備や車体の更新
	16	渥美線施設の更新			○	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、愛知県、豊橋市】 交付金事業 ・レール分岐器更換 大清水～老津 老津4号分岐 ・木柱のコンクリート柱化 向ヶ丘～大清水間 ・踏切制御装置他更新 大清水4号、老津4号踏切 ・信号関係制御装置他更新 南栄～高師間 ・年度計画に基く、その他通常保守点検修繕を実施 ・車両更新の方向性についての検討、調査 【豊橋鉄道株式会社】 令和7年度以降の予定を検討、計画	【豊橋鉄道株式会社、国土交通省、愛知県、豊橋市】 交付金事業 ・道床更換 老津～杉山 ・木柱のコンクリート柱化 向ヶ丘～大清水間 ・踏切制御装置他更新 老津3.6号 ・年度計画に基づく、その他通常保守点検修繕を実施 ・車両改造更新の方向性について調査検討 【豊橋鉄道株式会社】 令和8年度以降の予定を検討、計画
	17	渥美線橋梁の耐震化の促進			○	【豊橋鉄道株式会社】 ・落橋防止耐震化対策完了橋梁について橋脚・橋台の洗掘調査実施した結果、特に問題はなかった。 ・令和7年度以降の予定を検討、計画(渥美線柳生橋～小池間 JR乗越橋)	【豊橋鉄道株式会社】 令和8年度以降の予定を検討、計画
	105	公共交通優先システムの導入(信号制御など)			○	【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・引き続き東田電停の信号制御について、検討する。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
	18	適切な道路空間の確保に向けた沿線まちづくりの検討			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
	109	市民の利用意識の醸成			○	【豊橋鉄道株式会社】 ・地域・主催者と連携し沿線で開催される催事等の情報発信による、公共交通の利用促進を図った。 ・ <u>豊橋鉄道創立100周年HPリニューアル、公式SNSなどにより情報を随時発信した。</u> ・市電おかえりきっぷ等の拡販による利用促進を図った。 【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 出張出前講座(5回開催)による公共交通利用への意識付けを行った。 ・ <u>豊鉄グループ100周年イベントとして、豊橋のまちづくりと公共交通を考える「タウンミーティング」を開催した。</u> 【各交通事業者、豊橋市】 カーフリーデー等各種イベントでのPR。 ・ <u>公共交通の利便性や快適性を知ってもらうため、「公共交通RUNとよはしロゲイニング」を開催した。</u> 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 <u>電車・バス沿線周遊マップの新規エリア(愛大前・藤沢エリア、赤岩口・岩田エリア)の作成。</u> 【豊橋市】 ・ <u>子育て世代の利用促進のため「とよはし子育て応援電車・バス」、「絵本の駅」、「電車・バスお出かけ講座＆おはなし電」を開催した。</u> ・カーフリーデーや公共交通RUNとよはしロゲイニングで、「豊橋市の公共交通をとよに支え育む条例」を周知した。	【豊橋鉄道株式会社】 ・沿線で開催される催事等において、地域・主催者と連携し、公共交通の利用促進を図る。 ・ホームページ、公式SNSなどにより随時情報発信していく。 ・市電おかえりきっぷ等の拡販による利用促進。 【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 ・出張出前講座(5回実施予定)等による公共交通利用への意識付けを行う。 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 <u>電車・バス沿線周遊マップの新規エリアの作成。</u> 【豊橋市】 ・「豊橋市の公共交通をとよに支え育む条例」を周知し、市民が過度に自家用車に頼ることなく移動することの意識醸成を図っていく。 ・引き続き、各種イベント等を開催し、市民の利用意識の醸成を図っていく。
	19	路面電車の上下分離方式など行政の適切な関与の検討			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を行った。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
【取組み1－3】公共交通の利便性向上							
20	公共交通利用者への支援 (通勤・通学定期、高齢者・子育て世帯など)			○	【愛知県タクシー協会、愛知県、豊橋市】 ・安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進。 ※(車両導入数：東海74台、豊鉄9台、ヨシダ15台／2025年3月末現在) 【愛知県タクシー協会】 ・子育てタクシー及び「はぐみんカード割引(10%割引)」を実施。 ・障害者手帳及び療育手帳のモバイルアプリ(ミライロID)を実施(割引時にモバイルアプリを提示するだけで、割引を行うため利便性の向上につながる)。 ・付き添いタクシー「そいたく」をPRし、高齢者の移動+生活をサポート 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続実施 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」を実施 ・豊橋鉄道創立100周年記念 子育て応援企画「市内電車こども無料の日」を実施 【豊橋市】 ・交通事業者の取組・イベントや子連れでの路面電車利用の様子を、子育て支援課の運用するSNSで発信した。 【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・高齢者移動支援事業 ・市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の以下の助成を行った。 令和6年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 【実績】①対象者数：22567名 ②引き換え者数：15920名(内タクシー助成券 11877名、共通助成券 3583名、元気バス 460名) ・障害者社会参加促進事業の実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施 ・ <u>「とよはし子育て応援電車・バス」ステッカー及びラッピングの実施。</u>	【愛知県タクシー協会、愛知県、豊橋市】 安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進の継続。 【愛知県タクシー協会】 ・そいたく、子育てタクシーをPRL高齢者、妊産婦の移動+生活をサポートする。 ・高齢者・子育て世帯を軸としたサービス提供や、タクシーの活用方法について検討する。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続。 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の継続。 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」を継続。 ・豊橋鉄道創立100周年記念 子育て応援企画「市内電車こども無料の日」の継続。 ・その他の施策を検討、計画、実施。 【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・高齢者移動支援事業 引き続き市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の以下の助成を行う予定 令和7年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 ・障害者社会参加促進事業 ・高齢者運転免許自主返納支援事業の継続。 【豊橋市】 ・引き続き、交通事業者の実施する取組・イベント等を、子育て支援課の運用するSNS・ブログでPRすることで、子育て世帯が公共交通機関を利用して外出する機会増加に寄与する。	
					【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引を実施。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 1日フリー乗車券の発売 【豊鉄バス株式会社】 <u>令和7年3月15日にICカードの導入を行った。</u> 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 <u>東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業を展開。</u>	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 引き続き、しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引切符の実施。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 1日フリー乗車券の発売。 【豊鉄バス株式会社】 ICによる乗継割引の実施。 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 <u>東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)の拡充。</u>	
21	利用しやすい運賃体系の導入(ゾーン制運賃、まちなか来訪者への支援、乗継割引など)			○			

---> 調査・検討

→ 整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

【報告第2号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(3／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
【戦略1】公共交通幹線軸の強化	【取組み1－3】公共交通の利便性向上						
	22	路線バスへのICカードの導入	――→	→	◎	【豊鉄バス株式会社】 令和7年3月15日にICカードの導入を行った。	【豊鉄バス株式会社】 関係機関と協力し、ICカードの利用率向上に務める。また、IC利用データの活用方法について検討を進める。
	23	リアルタイム運行情報システムの導入	→		◎	【豊鉄バス株式会社】 バスロケーションシステムにより、利用者へ運行情報を提供。 【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 バス乗り方教室の開催(富士見小、多米校区(高齢者向け))。 【豊橋市、交通事業者】 カーフリーデー等各種イベントでのPR。 【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 豊橋市公共交通運行情報システム「のってみりん」の運用、利活用の継続、運用機器の信頼性の向上と渥美線運用への働きかけ、「のってみりん」に替わる運行情報提供システムの検討。	【豊鉄バス株式会社】 ・多くの方にご利用して頂くためバスロケーションシステムのPRIに努める。また、バスロケーションシステムの運行データを活かし、ダイヤ改正に役立てていく。 ・引き続き、HPや地区別のバス時刻表の作成配布、イベント等の参加、バスの乗り方教室等を実施し、情報発信を継続的に行っていく予定。 【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 既設の豊鉄バスナビの機能改修により、豊橋市公共交通運行情報システム「のってみりん」に替わる渥美線、市内線、路線バス、コミュニティバスの運行情報システムを稼働。
	24	利便性が高い公共交通の効果的な情報の周知	→	→	○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 バス乗り方教室の開催(富士見小、多米校区(高齢者向け)) 【豊橋市、交通事業者】 カーフリーデー等各種イベントでのPR。 【愛知県タクシー協会】 ・車内FreeWi-Fiによる利用者利便性の向上の検討。 ・車内タブレット広告による、公共交通機関のPRと情報発信の強化。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等によるイベント情報等を随時公開。 ・創立100周年各事業の実施(11/30感謝祭等)。 ・豊橋鉄道ホームページのリニューアル。 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業を展開。	【愛知県タクシー協会】 ・車内FreeWi-Fiによる利用者利便性の向上の検討。 ・車内タブレット広告による、公共交通機関のPRと情報発信の強化。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等によるイベント情報等を随時公開。 ・豊橋鉄道ホームページで観光や回遊施策の周知 ・既設の豊鉄バスナビの機能改修により、豊橋市公共交通運行情報システム「のってみりん」に替わる渥美線、市内線、路線バス、コミュニティバスの運行情報システムを稼働 ・令和8年度以降の予定を検討、計画 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業の拡充。
	25	交通施設や情報等のトータルデザイン化	→	→	○	【豊橋市】 新たに豊鉄100周年を告知する掲示板の設置を既存の案内板等と調和するように豊橋鉄道株式会社に助言し、トータルデザイン化を図った。 【豊鉄バス株式会社】 豊橋鉄道創立100周年事業でラッピング車両1台とステッカーを全車両に添付し、PRに努めた。 【豊橋鉄道株式会社】 豊橋鉄道創立100周年事業での案内看板等について、豊橋市と相談し、トータルデザイン化を図った。	【豊橋市】 今後、令和4年度に策定した車体広告のデザインの手引きを含め相談があれば、手引き等の内容に沿ったものとなるよう誘導を図る。
	1002	MaaSなど新たなモビリティサービスの推進	――→	→	○	【愛知県タクシー協会】 ・車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討。 ・豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」導入の検討する。導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図る。一部事業者で先行実施した。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等による運行情報、沿線施設情報等の提供。 ・豊橋市と「のってみりん」に替わる運行情報提供システムの検討 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業を展開。	【愛知県タクシー協会】 豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」導入の検討。 ※導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図る。今後、豊橋市内全社での配車アプリ「GO」導入完了を目指す。配車アプリの周知を行うことで利便性向上を図る。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等による運行情報、沿線施設情報等の提供。 ・「のってみりん」に替わる新システムへのスムーズな移行を進めていく。 【豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業の拡充。
【戦略2】地域拠点等における交通結節機能の強化	【取組み2－1】交通結節結節点へのアクセス性の向上						
	1	バス路線の維持、再編・見直し	→	→	○	【豊橋市】 幹線バス維持のため、「歩いて暮らせるまち区域」への居住の誘導として、「歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金」を交付。令和6年度は新規の認定を253件行った。 【豊鉄バス株式会社】 ・労働基準の改善や利用状況に応じ、レイクタウン線、二川線、牛川金田線、飯村岩崎線において、適切な本数へと変更(減便)を行った。その結果、運転手のインターバルが増加し、適切な労働環境の確保に繋がった。 ・豊橋技科大線「道の駅とよはし」への延伸を行い、利用者の増加を図った。 ・道の駅とよはしとの調整により三本木線を、近隣高校への登校に合わせて牛川金田線、西口線の運行時刻の見直しを行い利用者の利便性の向上を図った。	【豊橋市】 引き続き、「歩いて暮らせるまち区域定住促進事業費補助金」を交付し、幹線バス沿線への居住誘導を進める。 【豊鉄バス株式会社】 豊橋和田辻線において区画整理に伴うルート変更を実施する。
	26	自転車ネットワークの整備推進	→	→	○	【豊橋市】 市道鴨田町・小池町2号線、市道花中町・柱一番町1号線、市道南松山町・福岡町7号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 各道路管理者に対して、交通管理者の立場から、必要な意見や助言、申し入れを行った。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会への参画。	【豊橋市】 引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 【豊橋警察署】 今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.1km)の整備。
	27	地域主体のコミュニティバス(「地域生活」バス・タクシー)の運行	→	→	○	【豊橋市】 ・既存路線の運行継続及び見直し。 ・柿の里バスのルート・ダイヤの変更。 ・湖西市と連携し企業シャトルBaaSの実証実験を実施。	【豊橋市】 ・既存路線の運行継続及び見直し。 ・湖西市と連携し企業シャトルBaaSの実証実験を実施。
	【取組み2－2】乗換機能の強化						
	28	円滑な乗換施設の整備(赤岩口電停、競輪場前電停など)	→	→	○	【愛知県タクシー協会】 待機車両数の確保とし、豊橋市の玄関である駅での公共交通期間(タクシー)車両確保を協会全体で取り組む。(検討を継続) 【豊橋鉄道株式会社】 柿の里バス赤岩口停留所の運用変更への協力。	【愛知県タクシー協会】 ・引き続き、待機車両数の確保について、協会全体で取り組む。(検討を継続) ・南栄駅前にあるタクシー待合施設の整備実施予定。 ・駅前のタクシー乗場の確保検討と、市民病院や医療センター等のタクシー乗場のある施設の有効活用で、タクシーの利便性の向上を検討する。 【豊橋警察署】 安全な乗換施設の整備のため、今年度も引き続き東田電停に島状の停留所整備を強く要望する。
29	P&R駐車場の整備推進	→	→	○	【豊橋鉄道株式会社】 渥美線老津駅パーク&ライド駐車場整備の検討、調査を実施。	【豊橋鉄道株式会社】 渥美線老津駅パーク&ライド駐車場整備の検討、調査を継続。	
30	C&R駐輪場の整備推進	→	→	○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 自転車でのアクセスの利便性を確保するため、C&R駐輪場の候補地について、現地確認を行い、整備に向けて準備している。	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 関係機関と連携し、整備を進める。	
7	バス停施設の改善	→	→	○	【豊鉄バス株式会社】 ・三菱ケミカル口(上)、豊岡中学校前(上)、西小鷹野(上)の照明の修繕を行った。 ・牛川(上)の上屋シート張替えを行った。	【豊鉄バス株式会社】 利用状況や待ち合いの環境状況に応じ、バス停の改修等を検討していく。	

――→ 調査・検討

→ 整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

【報告第2号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(4/8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
【戦略2】 地域拠点等における交通結節機能の強化	13	駅・停留場施設の改善			○	【豊鉄鉄道株式会社】 令和6年度以降の予定を検討、計画。 利用者(人/日) 高師駅2,568、大清水2,691 豊橋鉄道創立100周年記念イベントやコロナ禍の回復により昨年度より増加。	【豊鉄鉄道株式会社】 令和7年度以降の予定を検討、計画。
	31	分かりやすい交通情報の提供			○	【豊鉄バス株式会社】 ・引き続き、レイクタウン線の時刻表について、大清水駅での渥美線との乗り継ぎ時刻表掲載。 ・豊橋駅構内「観光案内所」にて、バス時刻表の配布を継続実施している。 【愛知県タクシー協会】 ・待機車両数の確保(乗車時の利便性の確保) 乗りたいときに待機車両が確保されている環境を協会全体で継続して検討を行う。	【豊鉄バス株式会社】 ・交通結節点の情報提供に努めていく。 ・豊橋駅構内「観光案内所」にて、バス時刻表の配布を継続実施していく。 【愛知県タクシー協会】 ・待機車両数の確保(乗車時の利便性の確保) 乗りたいときに待機車両が確保されている環境を協会全体で継続して検討を行う。乗りたいときに待機車両が確保されている環境が必要な場所と、配車アプリで対応可能な場所を確認しつつ、市内全域でタクシーが必要な場所・時間帯等を検証したい。 <u>・国土交通省推奨の「多言語案内用タブレット端末」導入予定。</u> ・デジタルサイネージによる各種情報提供を継続。
	1002	MaaSなど新たなモビリティサービスの推進			○	【愛知県タクシー協会】 ・車内Wi-FiとGPSシステムを組み合わせた、位置情報の共有を検討。 ・豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」導入の検討する。導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図る。一部事業者で先行実施した。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等による運行情報、沿線施設情報等の提供。 <u>・豊橋市と「のってみりん」に替わる運行情報提供システムの検討</u> 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 <u>・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業を展開。</u>	【愛知県タクシー協会】 豊橋市内全タクシー会社でタクシー配車アプリ「GO」導入の検討。 ※導入することで豊橋市内のタクシーを有効活用でき利便性向上を図る。今後、豊橋市内全社での配車アプリ「GO」導入完了を目指す。配車アプリの周知を行うことで利便性向上を図る。 【豊橋鉄道株式会社】 ・HP、公式SNS等による運行情報、沿線施設情報等の提供。 <u>・「のってみりん」に替わる新システムへのスムーズな移行を進めていく。</u> 【豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 <u>・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業の拡充。</u>
	【取組み2-3】交通結節点周辺のまちづくりとの連携						
	32	地域拠点整備と連携した交通施策の実施(南栄駅、高師駅周辺など)			○	【愛知県、豊橋市】 ・街路整備検討業務に基づく今後の対応について協議。 ・弥生町線の一部(延長400m)について、令和7年3月供用開始。	【愛知県】 ・弥生町線について、まちづくりを前提として、整備の方向性を検討する予定である。 【豊橋市】 ・国道259号と(都)弥生町線の交差部における事業認可協議(街路事業区間と迂回路設定、事業期間、既存道路との交差などの公安協議) ・整備方針の決定に支障となっている課題を共有し、整備方針の方向性決定に向け、愛知県と鉄道事業者と協議を継続していく。
	33	乗換施設整備と連携した地域拠点整備(赤岩口電停周辺など)			○	【豊橋市、交通事業者】 拠点の活用や整備に向けた検討を行っている。	【豊橋警察署】 ・実施主体者側からの相談や協議に対して、交通管理者として必要な意見や助言を行う。 【豊橋市】 ・都市計画マスタープランや都市交通計画に基づき、関係課と連携し計画推進を図る。
	34	道の駅整備と連携した交通施策の実施			○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市、愛知県、国土交通省】 <u>豊鉄バス「豊橋技科大線」の道の駅とよはしまでの延伸を実施。</u> 【豊鉄バス株式会社】 令和7年3月に「道の駅とよはし」へのバス乗り入れの運行を開始した。	【豊鉄バス株式会社】 関係機関と連携し、利用者を増加させるための施策の検討・実行を行う。
	【取組み3-1】路面電車の魅力向上						
	35	軌道緑化の整備			◎	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 維持管理作業を実施	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 維持管理作業を継続
	36	グレードの高い停留場の整備			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 電停の拡張について検討を行った。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 引き続き、電停の拡張について検討を行う。
	18	適切な道路空間の確保に向けた沿線まちづくりの検討			○	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を行った。	【豊橋鉄道株式会社、豊橋市】 定期的な意見交換会にて協議を継続していく。
【戦略3】 まちなか交通の魅力向上	25	交通施設や情報等のトータルデザイン化			○	【豊橋市】 新たに豊鉄100周年を告知する掲示板の設置を既存の案内板等と調和するように豊橋鉄道株式会社に助言し、トータルデザイン化を図った。 【豊鉄バス株式会社】 豊橋鉄道創立100周年事業でラッピング車両1台とステッカーを全車両に添付し、PRIに努めた。 【豊橋鉄道株式会社】 豊橋鉄道創立100周年事業での案内看板等について、豊橋市と相談し、トータルデザイン化を図った。	【豊橋市】 今後、令和4年度に策定した車体広告のデザインの手引きを含め相談があれば、手引き等の内容に沿ったものとなるよう誘導を図る。
	37	企画電車の運行(おでんしゃ、納涼ビール電車など)			○	【豊橋鉄道株式会社】 ・「納涼ビール電車」運行 6～9月。 ・「おでんしゃ」運行 11月～3月。 ・豊橋まつり「花電車」運行 10月。	【豊橋鉄道株式会社】 ・「納涼ビール電車」運行継続 6～9月。 ・「おでんしゃ」運行継続 11月～3月。 ・豊橋まつり「花電車」運行継続 10月。

---➡ 調査・検討

➡ 整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

【報告第2号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(5／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況 ◎：完了 ○：着手 －：未着手	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～	R3～R7			
【戦 略 3】まちなか交通の魅力向上	38	レトロ電車など観光資源の開発	――→	→	○	【豊橋市】 ・JR東海と連携して行う【推し旅】事業の一環で、ゲームコンテンツを装飾したラッピング電車を運行。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋鉄道創立100周年記念ラッピング電車の運行。	【豊橋鉄道株式会社】 市内線開業100周年イベントの実施。
	3001	「豊橋市ふるさと寄附金」を活用した体験型返礼品の実施	――→	→	○	【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋鉄道で実施している小学生向け夏休みイベント(路面電車の運転体験等)の体験型返礼品について、2組参加した。	【豊橋市、豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋鉄道で実施している小学生向け夏休みイベント(路面電車の運転体験等)を体験型返礼品とする。
	【取組み3－2】回遊性・アクセス性の向上						
	39	歩行者を優先したデザイン性の高い道路整備	→	→	○	【豊橋市】 ・萱町通り 萱町通みち・まちづくり協議会と連携して、歩道空間を活用したイベントを2回開催するとともに、日常的な賑わいを創出するため、歩道空間の利活用に向けた実証実験を3回行った。 ・駅前大通り まちなか活性化センターを事務局とした豊橋まちなか未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行った。	【愛知県、豊橋市】 ・道路法第17条第2項により管理主体を豊橋市とし、より良い整備を検討する必要がある。 【豊橋市】 ・萱町通り 引き続き協議会と連携してイベントや実証実験等を行い、歩道空間の利活用に向けた検討を行う。 ・駅前大通り 引き続き未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を継続する。
	131	分かりやすい交通情報の提供	→	→	○	【豊鉄バス株式会社】 ・引き続き、レイクタウン線の時刻表について、大清水駅での渥美線との乗り継ぎ時刻表掲載。 ・豊橋駅構内「観光案内所」にて、バス時刻表の配布を継続実施している。 【愛知県タクシー協会】 ・待機車両数の確保(乗車時の利便性の確保) 乗りたいときに待機車両が確保されている環境を協会全体で継続して検討を行う。	【豊鉄バス株式会社】 ・交通結節点の情報提供に努めていく。 ・豊橋駅構内「観光案内所」にて、バス時刻表の配布を継続実施していく。 【愛知県タクシー協会】 ・待機車両数の確保(乗車時の利便性の確保) 乗りたいときに待機車両が確保されている環境を協会全体で継続して検討を行う。乗りたいときに待機車両が確保されている環境が必要な場所と、配車アプリで対応可能な場所を確認しつつ、市内全域でタクシーが必要な場所・時間帯等を検証したい。 ・国土交通省推奨の「多言語案内用タブレット端末」導入予定。 ・デジタルサイネージによる各種情報提供を継続。
	3002	居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりと連携した施策の実施	――→	→	○	【豊橋市】 ・歩行空間の快適性向上などの具体的な取り組みにつなげるため、3D都市モデルを活用し、仮想空間上でまちなかの熱環境と人流の可視化・分析を行った。 ・萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行った。	【愛知県タクシー協会】 ・中心市街地内での、乗降場所の確保/拡大の要望を継続。 【豊鉄バス株式会社】 ・豊橋技科大と連携して、暑熱対策の実証実験の検討を進める。 ・要因不足の解消に努め、需要を鑑みてまちなかへの幹線軸の維持・確保を図る。 【豊橋市】 引き続き萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行う。
	2	運行時間帯の拡大	→	→	○		【豊鉄バス株式会社】 最終便の延長については、要因状況や需要を鑑みて判断していく。
	3	運行本数の増便	→	→	○	【豊鉄バス株式会社】 ・労働基準の改善や利用状況に応じ、レイクタウン線、二川線、牛川金田線、飯村岩崎線において、適切な本数へと変更(減便)を行った。その結果、運転手のインターバルが増加し、適切な労働環境の確保に繋がった。	【豊鉄バス株式会社】 運行本数の増便については、要因状況や需要を鑑みて判断していく。
	40	駐輪場の利便性・快適性の向上 (短時間駐輪場の整備、地下駐輪場の改修など)	→	→	○	【豊橋市】 ・オーススロープ修繕 ・西口地下エリア泡消火設備取替修繕 ・券売機のキャッシュレス精算対応 ・民間再開発事業を促進することで、施設用駐輪場の整備を進めた。	【豊橋市】 ・大型自転車駐車スペース設置 ・長寿命化計画に基づき、オーススロープ修繕、東口地下エリア地下3階防火扉修繕を行う。 ・引き続き民間再開発事業を促進し、施設用駐輪場の整備を進める。
	26	自転車ネットワークの整備推進	→	→	○	【豊橋市】 市道鴨田町・小池町2号線、市道花中町・柱一番町1号線、市道南松山町・福岡町7号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 各道路管理者に対して、交通管理者の立場から、必用な意見や助言、申し入れを行った。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会への参画。	【豊橋市】 引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 【豊橋警察署】 今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L=約0.1km)の整備。
	41	サイクルトレイン、サイクルバスの導入・拡充	→	→	○	【豊鉄バス株式会社】 自転車に関しては、専用の袋に入った折りたたみ自転車を持ち込みの手回り品として認めるという従来通りの取り扱いで対応した。 【豊橋鉄道株式会社】 渥美線サイクルトレイン実施。R6年度利用実績 5,929人(R5 5,656人、R4 5,195人)	【豊鉄バス株式会社】 引き続き、従来の対応を取りながら、今後の運用について検討していく。 【豊橋鉄道株式会社】 渥美線サイクルトレイン実施を継続。
	42	都市間鉄道の利便性向上	→	→	○	【豊橋市】 ・三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会活動：幹事会(2回)、総会(R6.5.8)への参加。 ・R7.1.27「東海道新幹線豊橋駅及び三河安城駅への「ひかり・こだま」の増便・停車に関する要望」への参加。 ・新幹線駅利用促進啓発用ポスターの作成、豊橋駅をはじめ各所への掲示。 ・JR東海ホームページへ『豊橋まちなか歩行天国』はたらくるま大集合！』、「とよはしキラライルミネーション2024」の情報掲載。	【豊橋市】 引き続き三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会の活動を通じて豊橋駅を中心に東三河地域への人の来訪を促す以下の取り組みを行う。 ・JR東海への要望活動。 ・新幹線駅利用促進啓発用物品の製作及び掲示。 ・有識者による基調講演(総会)
	43	豊橋駅東エリアと西エリアを結ぶ通行環境の向上	――――→	――――→	○	【愛知県】 城海津跨線橋南側歩道橋の撤去に向けてJR東海と引き続き、協議を実施。	【愛知県】 城海津跨線橋南側歩道橋の撤去に向けてJR東海と引き続き協議を実施。
	20	公共交通利用者への支援(通勤・通学定期、高齢者・子育て世帯など)	→	→	○	【愛知県タクシー協会、愛知県、豊橋市】 ・安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進。 ※(車両導入数： 東海74台、豊鉄9台、ヨシダ15台／2025年3月末現在) 【愛知県タクシー協会】 ・子育てタクシー及び「はぐみんカード割引(10%割引)」を実施。 ・障害者手帳及び療育手帳のモバイルアプリ(ミライロID)を実施(割引時にモバイルアプリを提示するだけで、割引を行うため利便性の向上につながる)。 ・付き添いタクシー「そいたく」をPRL、高齢者の移動+生活をサポート 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続実施 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の発売期間延長 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」を実施 ・豊橋鉄道創立100周年記念 子育て応援企画「市内電車こども無料の日」を実施 【豊橋市】 ・交通事業者の取組・イベントや子連れでの路面電車利用の様子を、子育て支援課の運用するSNSで発信した。 【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・高齢者移動支援事業 市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の以下の助成を行った。 令和6年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 【実績】①対象者数：22567名 ②引き換え者数：15920名(内タクシー助成券 11877名、共通助成券 3583名、元気バス 460名) ・障害者社会参加促進事業の実施 ・高齢者運転免許自主返納支援事業等の実施 ・「とよはし子育て応援電車・バス」ステッカー及びラッピングの実施。	【愛知県タクシー協会、愛知県、豊橋市】 安心して乗車できる公共交通機関として、ユニバーサルデザインタクシーの導入促進の継続。 【愛知県タクシー協会】 ・そいたく、子育てタクシーをPRL高齢者、妊産婦の移動+生活をサポートする。 ・高齢者・子育て世帯を軸としたサービス提供や、タクシーの活用方法について検討する。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊橋まちなか活性化センターと連携した市電おかえりきっぷを継続。 ・「渥美線・市内線・豊鉄バス 豊橋まちなかおでかけきっぷ」の継続。 ・市電の日「市内線小学生運賃無料」を継続。 ・豊橋鉄道創立100周年記念 子育て応援企画「市内電車こども無料の日」の継続。 ・その他の施策を検討、計画、実施。 【豊橋市、交通事業者】 公共交通の助成 ・高齢者移動支援事業 引き続き市民税非課税世帯の70歳以上の方を対象に、日常生活の支援として公共交通機関の利用料金の以下の助成を行う予定 令和7年度助成内容 ・タクシー料金助成券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通助成券5,000円分 ・元気バス購入助成5,000円分 ・障害者社会参加促進事業 ・高齢者運転免許自主返納支援事業の継続。 【豊橋市】 引き続き、交通事業者の実施する取組・イベント等を、子育て支援課の運用するSNS・ブログでPRすることで、子育て世帯が公共交通機関を利用して外出する機会増加に寄与する。
	21	利用しやすい運賃体系の導入(ゾーン制運賃、まちなか来訪者への支援、乗継割引など)	→	→	○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引を実施。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 1日フリー乗車券の発売 【豊鉄バス株式会社】 令和7年3月15日にICカードの導入を行った。 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)実証事業を展開。 下線は、新規、拡充等	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 引き続き、しおかぜバス・豊橋市民病院乗継割引切符の実施。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社】 1日フリー乗車券の発売。 【豊鉄バス株式会社】 ICによる乗継割引の実施。 【愛知県、豊橋鉄道株式会社、東三河自治体】 ・東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)の拡充。

――→ 調査・検討
→ 整備・導入・実施

【報告第3号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(6／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
			◎：完了 ○：着手 －：未着手				
【戦略3】 まちなか交通の 魅力向上	【取組み3－3】まちなかのまちづくりとの連携						
	44	駅前大通二丁目地区市街地再開発事業と連携した交通施策の実施			○	【豊橋市】 萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行った。	【豊橋市】 引き続き萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行う。
	45	豊橋駅西口駅前地区の整備に向けた検討			○	【豊橋市】 駅前広場周辺における観光バスや送迎バス候補地の検討を行うとともに、JRと調整を行い、駅前広場の整備手法の検討を行った。	【豊橋市】 駅前広場周辺の権利者に対してヒアリングを行い、駅前広場整備の可能性を探る。
	3002	居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりと連携した施策の実施			○	【豊橋市】 ・歩行空間の快適性向上などの具体的な取り組みにつなげるため、3D都市モデルを活用し、仮想空間上でまちなかの熱環境と人流の可視化・分析を行った。 ・萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行った。	【愛知県タクシー協会】 ・中心市街地内での、乗降場所の確保/拡大の要望を継続。 【豊鉄バス株式会社】 ・豊橋技科大と連携して、暑熱対策の実証実験の検討を進める。 ・要因不足の解消に努め、需要を鑑みてまちなかへの幹線軸の維持・確保を図る。 【豊橋市】 引き続き萱町通りや駅前大通りにおいて、回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行う。
【戦略4】 自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4－1】交通手段を賢く使い分ける意識変革						
	46	「豊橋市の公共交通をともに支え育む条例」の制定・周知			○	【豊橋市】 ・カーフリーデーや公共交通RUNとよはしロゲイニングで、条例を周知した。	【愛知県タクシー協会】 ・公共交通専用レーン 公共交通の通行帯専用レーン、豊橋駅の入構専用レーン。 ・公共タクシーベイ 現状の公共タクシーベイの、拡大要望の継続。 【豊鉄バス株式会社】 関係機関と連携し、情報交換を必要に応じて検討していく。 【豊橋市】 ・各種イベント等の開催に合わせ、条例を周知していく。
	47	徒歩、自転車、公共交通の利用啓発の推進（イベント開催、マップ作成など）			○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 バス乗り方教室の開催(富士見小、多米校区(高齢者向け))。 【豊橋市、交通事業者】 ・カーフリーデー等各種イベントでのPR。 配車アプリのPRブースを設け、チラシの配布等を行った。 【豊鉄鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 電車・バス沿線周遊マップの新規エリア(愛大前・藤沢エリア、赤岩口・岩田エリア)の作成。 【豊橋鉄道株式会社】 ・実施主体と連携し、沿線ハイキングをはじめ各種行催事等を実施。 JRさわやかウォーキング、名鉄ハイキング とよはし市電を愛する会「市電の日」イベント 沿線小学校への出張出前講座 5回 ・豊橋鉄道創立100周年各事業(11/30感謝祭)の実施。 ・沿線各所において、シェアサイクル事業に協力。	【豊鉄バス株式会社】 引き続き、関係機関と年度当初にイベント計画を検討し実施していく。 【愛知県タクシー協会】 各種イベントに交通事業者として参画し、公共交通の安全性と新たな利用方法(貨物サービス・駆付けサービス等)やサービスなど提案・PRする。 【豊橋鉄道株式会社、豊鉄バス株式会社、愛知大学、豊橋市】 電車・バス沿線周遊マップの新規エリアの作成。 【豊橋鉄道株式会社】 ・実施主体と連携し、沿線ハイキングをはじめ、各種行催事等を実施予定。 ・市内線開業100周年事業イベントの検討、計画、実施。 ・引き続き、沿線各所における、シェアサイクル事業の推進のため協力していく。 ・令和8年度以降の予定を検討、計画、実施。
	48	エコ通勤の推進			○	【豊橋市】 市役所職員にT-EMS(豊橋エコマネジメントシステム)を通じてエコ通勤の実施を呼びかけ。	【豊橋市】 引き続き、市役所職員にT-EMS(豊橋エコマネジメントシステム)を通じてエコ通勤の実施を呼びかけ。
	49	健康マイレージ事業の実施			○	【豊橋市】 ・市運用アプリ「あいち健康プラス」のスタンプラリー機能を活用し、まちなか歩行者天国等と連携したウォーキングイベントを開催した(参加者数 514人)。 ・株式会社菱和テレコムと連携し、ドコモショップを活用したノルディックウォーキングイベントを開催した(参加者数 19人)。 ・令和6年度新たに「豊橋市健康なまちづくりパートナーシップ」を締結した、住友生命保険相互会社と「Vitalityとよはしウォーク」を初開催した(参加者数 458人)。「あいち健康プラス」を併用することで、健康マイレージ事業の参加者を増加させることに繋がった。 ・健康経営に取り組む事業所に対して、事業所が取り組むメニューに「健康マイレージへの参加」を盛り込むことにより、健康経営に取り組む企業の健康マイレージ参加に繋がった。また、企業対抗で歩数を競う「企業対抗チャレンジマッチ」を開催した(参加数 38社781人)。	【豊橋市】 ・まちなか歩行者天国と連携したウォーキングイベント、ドコモショップを活用したウォーキングイベント、Vitalityとよはしウォーク、とよはしクアオルト健康ウォーキング、企業対抗チャレンジマッチ 等 ・令和6年度に開催した各種イベント等を令和7年度も引き続き実施し、健康マイレージ及びアプリの周知を行う。 ・健康経営に取り組む事業者の健康マイレージ参加、民間企業との健康づくりの協定に基づいた周知等を継続して実施する。
	50	公共交通を活用した観光の推進			○	【愛知県タクシー協会】 豊橋市及びコンベンション協会との運動を積極的に強化協力に努める。 【豊橋鉄道株式会社】 豊鉄バスツアー「奥三河再発見」の企画、実施を継続。 【豊鉄バス株式会社】 観光等にも幅広く利用してもらえるよう、東三河MaaS「いこまい」(愛知県新モビリティサービス)の実証運行を行った。 【豊橋市】 豊橋駅観光案内所の運営	【愛知県タクシー協会】 ・豊橋市及びコンベンション協会との運動を積極的に強化協力に努める。 ・豊橋では観光需要がないため、豊橋市及びコンベンション協会と情報交換を行い、観光整備の動向を確認しながらサービス・機器導入を検討。 【豊橋市】 ・豊橋駅観光案内所の運営継続。 【豊橋鉄道株式会社】 ・豊鉄バスツアー「奥三河再発見」の企画、実施を継続。
	51	運転免許自主返納者への支援(運転経歴証明書の交付など)			○	【豊橋市】 (令和元年11月着手)市内在住の70歳以上を対象に運転免許自主返納者への支援を実施した。 支援内容 (a)交通助成券の交付(次の中から1つを選択) (b)電動アシスト自転車購入費用の一部を助成 ・タクシー券5,000円分 ・補助率1/4(上限15,000円) ・電車・バス・コミュニティバス共通券5,000円分 ・元氣バス5,000円分 【豊橋警察署】 あらゆる機会を通じて、運転免許証の自主返納についての理解と協力を求めた。	【豊橋市】 令和7年度についても引き続き運転免許自主返納者への支援を実施する。 支援内容 交通助成券の交付(次の中から1つを選択) ・タクシー券5,000円分 ・電車・バス・コミュニティバス共通券5,000円分 ・元氣バス5,000円分 ※電動アシスト自転車購入費用については令和6年度をもって廃止 【豊橋警察署】 引き続き運転免許証の自主返納事業を推進する。
	4001	新しい生活様式に対応した公共交通の利用啓発の推進			○	【豊橋鉄道株式会社】 新型コロナウイルス感染症(COVID－19)が5類感染症へ変更され、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針が廃止されて以降、渥美線・市内線車両において、 部分的な窓ガラス開放による換気を実施。	【愛知県タクシー協会】 新たなタクシーの活用方法・サービスを提案・PRする。 【豊橋鉄道株式会社】 引き続き安心安全、安定輸送完遂のために必要な各施策を遂行。

調査・検討

整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

【報告第2号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(7／8)

戦 略	取組み・事業名称		実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
			前期	後期			
			H28 ～ R2	R3～R7			
【戦略4】自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4－2】多様な交通手段が共存できる道路空間の整備						
	52	市街地の渋滞解消につながる幹線道路の整備(国道259号バイパスの4車線化、東三河環状線の整備など)			○	【国土交通省】 野依IC～大崎IC間において、調査設計及び橋梁上部工を行った。 【愛知県】 ・259号(植田拡幅)について、大崎広沢交差点以北におけるの関係者協議、工事実施。 ・東三河環状線(石巻本町)について、用地買収及び埋蔵文化財の調査を実施。 ・小松原街道線について、用地買収及び用地測量を実施。 【豊橋市】 国および県により名豊道路や国道259号の4車線化工事を実施。 また都市計画道路整備プログラムに基づき整備を進めた。 (小松原街道線、汐田通、一色高洲線、三ツ山通、大岩寺沢線、外郭戦、弥生町線) ＜都市計画道路＞ ・大岩寺沢線の4期区間について、用地補償及び道路改良工事を実施。 ・一色高洲線の2期区間について詳細設計を実施。 ・山田三弥線について幅杭設置測量を実施。 ＜名豊道路＞ ・令和7年3月に名豊道路全線開通(※暫定2車線) ・名豊道路建設推進協議会(事務局:豊橋市)にて、幹事会・総会を開催 ・名豊道路建設推進協議会にて、国土交通省、財務省、愛知県への要望活動を実施 ・田原・明海臨海企業の幹線道路整備に関する提言活動に出席 ＜東三河環状線＞ ・東三河環状線整備促進期成同盟会が開催する、幹事会・総会へ参加 ・東三河環状線整備促進期成同盟会が実施する、国土交通省、財務省、愛知県への要望活動へ参加	【国土交通省】 引き続き、野依IC～大崎IC間において、調査設計、橋梁上部工及び改良工を行う。 【愛知県】 259号(植田拡幅)について、大崎西IC交差点以北におけるの工事実施予定。 東三河環状線(石巻本町)について、用地買収及び埋蔵文化財の調査を実施予定。 小松原街道線について、用地買収及び用地測量を実施予定。 【豊橋市】 国および県により4車線化工事を実施予定。 都市計画道路の整備は、都市計画道路の見直し検討と併せて、優先整備路線の検討を行う。 ＜都市計画道路＞ ・大岩寺沢線の4期区間について、道路改良工事を完了し供用開始予定。 ・一色高洲線の2期区間について、物件調査等を実施予定。 ・山田三弥線について、物件調査を実施予定。 ＜名豊道路＞ ・名豊道路建設推進協議会(事務局:豊橋市)にて、幹事会・総会を開催予定 ・名豊道路建設推進協議会にて、国土交通省、財務省、愛知県への要望活動を実施予定 ・田原・明海臨海企業の幹線道路整備に関する提言活動に出席予定 ＜東三河環状線＞ ・東三河環状線整備促進期成同盟会が開催する、幹事会・総会へ参加予定 ・東三河環状線整備促進期成同盟会が実施する、国土交通省、財務省、愛知県への要望活動へ参加予定
	53	生活道路の安全対策(ゾーン30の指定、歩道設置など)			○	【豊橋市】 ・ゾーン30内において、豊橋警察署と連携して、ドライバーへ速度遵守するよう啓発を行うほか、市ホームページや広報とよはしを活用して、ゾーン30の制度を周知した。 ・保育課が中心となって設置したキッズゾーンについて、ゾーン内を通行するドライバー等に対して安全運転を呼びかける啓発を行った。 ・豊橋技術科学大学と共同開発した「豊橋交通安全アプリ」でゾーン30エリアを表示し周知を行った。 ・豊橋市交通安全プログラム(改訂版)に基づき通学路安全対策連絡協議会において、令和6年度の通学路点検を実施。 ・都市計画道路弥生町線の歩道設置工事を完了。 ・速度抑制のため一部市道においてセンターライン抹消やラバーボール設置による狭さくなどの安全対策を実施した。 【豊橋警察署】 道路管理者と連携して、地域の要望に基づいて、生活道路に対する安全対策を検討、実施した。	【豊橋市】 ・引き続き、豊橋警察署と連携して、ドライバーへ速度遵守するよう啓発を行うほか市ホームページや広報とよはしを活用し、ゾーン30の制度や指定エリアを周知することにより、機能強化を図る。 ・豊橋技術科学大学と共同開発をした「豊橋交通安全アプリ」で、ゾーン30エリアを表示し周知を行う。 ・豊橋市交通安全プログラム(改訂版)に基づき通学路点検を実施予定。 ・社会資本整備総合交付金等を活用し、市道石巻西川町・石巻中山町1号線の歩道設置工事を予定。 ・必要に応じて関係機関と協議し安全対策を実施していく。 【豊橋警察署】 今後も道路管理者と連携して生活道路の安全対策を推進する。 【国土交通省】 ゾーン30プラスの登録に向け検討を進めるエリアについて、ETC2.0プローブデータを用いた分析等、必要な技術支援を行っていきます。
	39	歩行者を優先したデザイン性の高い道路整備			○	【豊橋市】 ・萱町通り 萱町通みち・まちづくり協議会と連携して、歩道空間を活用したイベントを2回開催するとともに、日常的な賑わいを創出するため、歩道空間の利活用に向けた実証実験を3回行った。 ・駅前大通り まちなか活性化センターを事務局とした豊橋まちなか未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を行った。	【愛知県、豊橋市】 ・道路法第17条第2項により管理主体を豊橋市とし、より良い整備を検討する必要がある。 【豊橋市】 ・萱町通り 引き続き協議会と連携してイベントや実証実験等を行い、歩道空間の利活用にに向けた検討を行う。 ・駅前大通り 引き続き未来会議と連携し、駅前大通りの回遊性や滞在性を向上させるための実証実験を継続する。
	26	自転車ネットワークの整備推進			○	【豊橋市】 市道鴨田町・小池町2号線、市道花中町・柱一番町1号線、市道南松山町・福岡町7号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 各道路管理者に対して、交通管理者の立場から、必要な意見や助言、申し入れを行った。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会への参画。	【豊橋市】 引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 【豊橋警察署】 今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.1km)の整備。
	【取組み4－3】自転車活用の推進						
	26	自転車ネットワークの整備推進			○	【豊橋市】 市道鴨田町・小池町2号線、市道花中町・柱一番町1号線、市道南松山町・福岡町7号線において、自転車通行空間確保工事を実施。 【豊橋警察署】 各道路管理者に対して、交通管理者の立場から、必要な意見や助言、申し入れを行った。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会への参画。	【豊橋市】 引き続き国の社会資本整備総合交付金を活用し、市道花中町・柱一番町1号線、市道仁連木町・井原町18号線において、自転車通行空間確保工事を実施予定。 【豊橋警察署】 今年度以降も交通管理者の立場から、道路管理者のネットワーク整備について、必要な意見や助言を行う。 【国土交通省】 豊橋市自転車活用推進委員会に参画し、調整を図っていく。 【愛知県】 豊橋渥美線(富本町地内)の自転車通行空間(L＝約0.1km)の整備。
	40	駐輪場の利便性・快適性の向上(短時間駐輪場の整備、地下駐輪場の改修など)			○	【豊橋市】 民間再開発事業を促進することで、施設用駐輪場の整備を進めた。	【豊橋市】 引き続き民間再開発事業を促進し、施設用駐輪場の整備を進める。
	30	C&R駐輪場の整備推進			○	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 自転車でのアクセスの利便性を確保するため、C&R駐輪場の候補地について、現地確認を行い、整備に向けて準備している。	【豊鉄バス株式会社、豊橋市】 関係機関と連携し、整備を進める。
	34	道の駅整備と連携した交通施策の実施			○	【豊橋市】 サイクルビットを整備済み。	【豊橋市】 引き続き、自転車で来訪しやすい環境を整えていく。
	54	自転車・ヘルメットの貸付及び購入補助			○	【豊橋市】 ＜ヘルメット購入補助＞ ・市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促した。 (ヘルメット購入費用の1/2、上限2000円) 令和6年度実績/2,956件 ＜三人乗り自転車貸出＞ 子育て家庭の支援の一環として満1歳以上4歳未満及び満2歳以上で小学校就学の始期に達するまでの幼児を2人以上養育しており、豊橋市内に居住している家庭(継続貸出者に限る)を対象に、三人乗り自転車を貸出する。 貸出自転車／台数 電動アシスト付自転車／延べ6台 利用料金 1,000円／月	【豊橋市】 ＜ヘルメット購入補助＞ ・自転車ヘルメットの着用を促すため、引き続き、ヘルメット購入補助を行う。 ＜三人乗り自転車貸出＞ 令和6年度をもって、「三人乗り自転車貸出」事業を廃止する。

---> 調査・検討

→ 整備・導入・実施

下線は、新規、拡充等

【報告第2号】豊橋市都市交通計画に基づく令和6年度実績及び令和7年度予定について(8／8)

戦 略	取組み・事業名称	実施スケジュール		R6実施状況	令和6年度実績	令和7年度予定
		前期	後期	◎：完了 ○：着手 －：未着手		
		H28 ～ R2	R3～R7			
【戦略4】自転車や公共交通を中心としたライフスタイルへの転換	【取組み4－3】自転車活用の推進					
	55	自転車利用のメリットの教育			○	【豊橋市】 ・引き続き市職員を対象に、T-EMSを通じてエコ通勤の推進を図る。 →第6次豊橋市エコアクションプラン(地球温暖化対策の推進に関する法律による策定義務)において自動車の利用の自粛や自転車利用の促進を図っており、これを基にT-EMSを通じて推進しているが、通勤方法の選択は個人の生活環境等に起因する部分が大きく、誰もがエコ通勤に取組めるものではないことから、T-EMSによる管理運営は推進よりも実績の把握に留まっているのが現状。 ・健康マガジンによる周知を継続して実施する。 年4回 発行予定
	56	対象・課題に応じた安全教育の実施			○	【豊橋市】 ・引き続き、小中学校、高校のほか、老人クラブ等への交通安全教育を実施するとともに、「豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例」の更なる周知を図る。 ・自転車に関する交通安全対策 引き続き、自転車安全利用モデル校と連携して自転車に関する啓発活動を行う。 【豊橋警察署】 今後も市等と連携し、裾野を広げたきめ細かい交通安全教育を推進する。
	4002	自転車情報の収集・提供			○	【豊橋市】 ・自転車の通行ルール及び通行空間に関するチラシの継続配布。 ・デジタルサイクリングマップ配信。 ・引き続き、高校生(新入生)を対象に自転車の安全利用啓発をする。
	4003	健康を切り口とした自転車活用の推進			○	【豊橋市】 ・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知。 実施回数 4回 送付先 とよはし健康宣言事業所 189社。 ・自転車通勤と健康効果の分析。
	4004	新しい生活様式に対応した自転車活用の推進			○	【豊橋市】 ・健康マガジン(企業向け機関誌)での周知。 実施回数 4回 送付先 とよはし健康宣言事業所 189社。
	4005	災害に備えた自転車活用の推進			○	【豊橋市】 ・災害時の適切な移動手段はその時の被災状況や住環境によって異なることから、非常時の移動手段の一つとして各自で考えるよう啓発している。 令和6年度 防災講座 実績363回 参加者57,973人 ※防災講習会・防災訓練等を含む。 ・自転車活用推進「トレジャーサイクル」イベントの開催。

---➡ 調査・検討
➡ 整備・導入・実施
下線は、新規、拡充等

報告第 3 号 地域運営団体の取組の報告について

東山バス運営協議会の取組について

東山バス運営協議会

1 令和 6 年度の取組及び実施結果について

(1) 支援会員の募集 (1,000 円／1 口)

59 名 69 口

(2) 総会等の開催

開催回数 12 回 (うち、総会 1 回、定例会 11 回)

(3) 事業計画の変更

なし

(4) イベントの実施

【12 万人乗車キャンペーン】

- ・利用者に抽選くじ入りのウェットティッシュを 200 個配布
抽選で 7 名に景品を贈呈

(5) 停留所周辺の利用環境整備

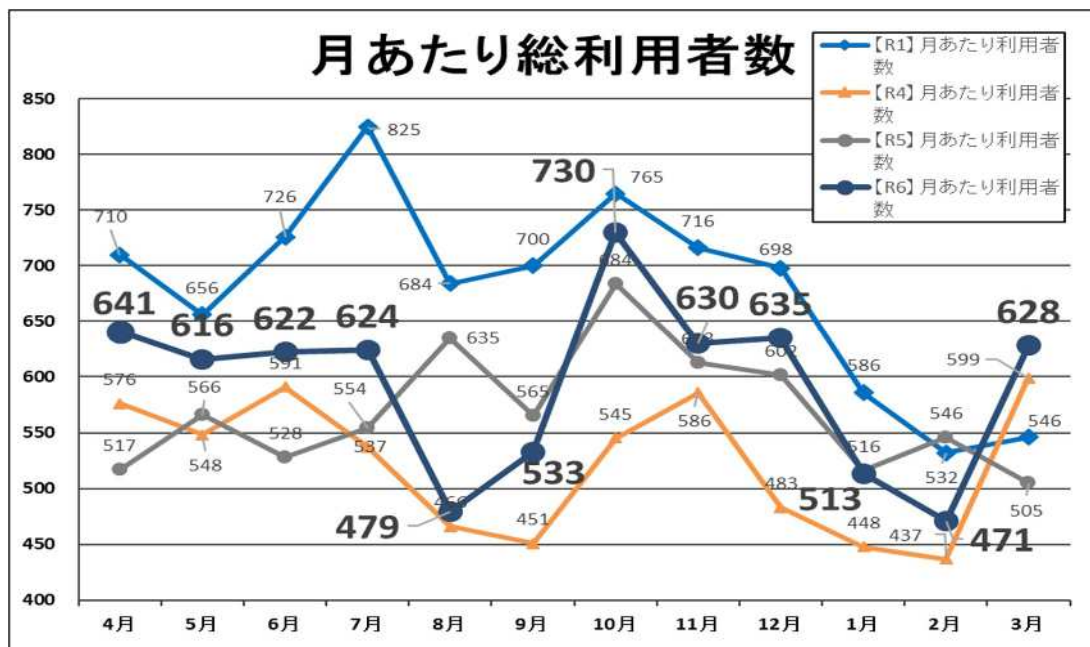
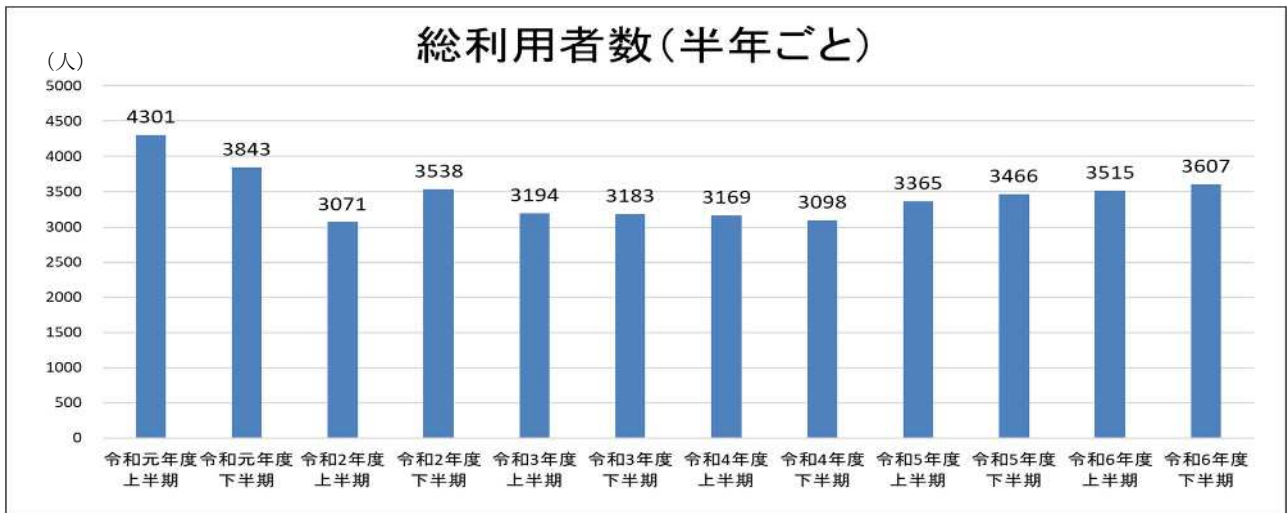
- ・停留所のヘッドパネル、アクリル板の修繕
- ・停留所付近の草取りやチューリップ・ひまわりの植栽

(6) 印刷物の作成及び広報活動

- ・やまびこ通信の発行 (通算第 34 号まで発行、東山地域へ各戸配布)
- ・バス停に設置した情報 BOX でパンフレット等を配布
- ・利用促進ポスターを町内掲示板 10 か所に掲示

2 利用者数の推移

令和6年度の利用者数は、前々年度比約 113.6%、前年度比約 104.2%と増加傾向となっている。今後も利用促進イベントの実施やパンフレットの配布等で更なる周知を行い、利用者増加を図る。



3 令和7年度の取組について

- (1) 支援会員の募集 (1,000 円／1 口)
- (2) 利用促進イベントの実施
- (3) 停留所周辺の利用環境整備
 - ・ 停留所設備の修繕、停留所付近の草取りや植栽
- (4) 印刷物の作成及び広報活動
 - ・ やまびこ通信の発行 (年 2 回程度、東山地域へ各戸配布を予定)
 - ・ パンフレットの配布 (東山地域のみではなく路線沿線校区にも配布を予定)
- (5) 収入確保策の実施
 - ・ ネーミングライツパートナーの募集
 - ・ 車両広告の募集

石巻・下条地域交通推進委員会の取組について

石巻・下条地域交通推進委員会

1 令和 6 年度の取組及び実施結果について

(1) 推進委員会等の開催

開催回数 11 回（うち、総会 1 回、推進委員会 3 回、小委員会 7 回）

(2) 利用者増加、安定運行を目指した抜本的なルート再編の検討、実施
（令和 6 年 8 月、令和 7 年 4 月実施）

- ・豊川駅までのルート延伸
- ・市内ルートの充実・効率化

(3) 地元の特産品を活用したバスツアーの実施

(ア) 花しょうぶまつりの散策とショートケーキ作り体験

【実施期間】 5 月 29 日、30 日、31 日

【参加者】 20 名

(イ) シャインマスカット収穫ツアー

【実施期間】 7 月 22 日、23 日、24 日、29 日、30 日、31 日

【参加者】 36 名

(ウ) 栗の収穫&モンブラン作り体験バスツアー

【実施期間】 9 月 10 日、12 日、24 日、26 日

【参加者】 24 名

(エ) 柿狩りと注連縄（しめなわ）作り体験ツアー

【実施期間】 11 月 5 日、6 日

【参加者】 6 名

(オ) いちご食べ放題といちご大福の手作り体験ツアー①

【実施期間】 1 月 21 日、22 日、23 日、24 日、28 日、29 日、
30 日、31 日

【参加者】 47 名

(カ) いちご食べ放題といちご大福の手作り体験ツアー②

【実施期間】 3 月 18 日、19 日、21 日、25 日、26 日、27 日、
28 日

【参加者】 44 名

(4) 新ルート体験乗車会の実施

賀茂地区→イオンモール豊川、バロー豊川店

【参加者】 12 名

西郷地区→バロー豊川店

【参加者】 4 名

下条地区→クックマート牛川店

【参加者】 2 名

(5) 夏休み小中学生無料キャンペーンの実施

【実施期間】 令和 6 年 7 月 20 日（土）～9 月 1 日（日）

【対 象】 小中学生無料。また小中学生 1 人に対し同伴者 1 名も無料。

【運 賃】 石巻・下条地域交通推進委員会から支出。

【利 用 者】 小学生 12 名、同伴者 10 名

（R 5 実績：小学生 44 名、同伴者 23 名）

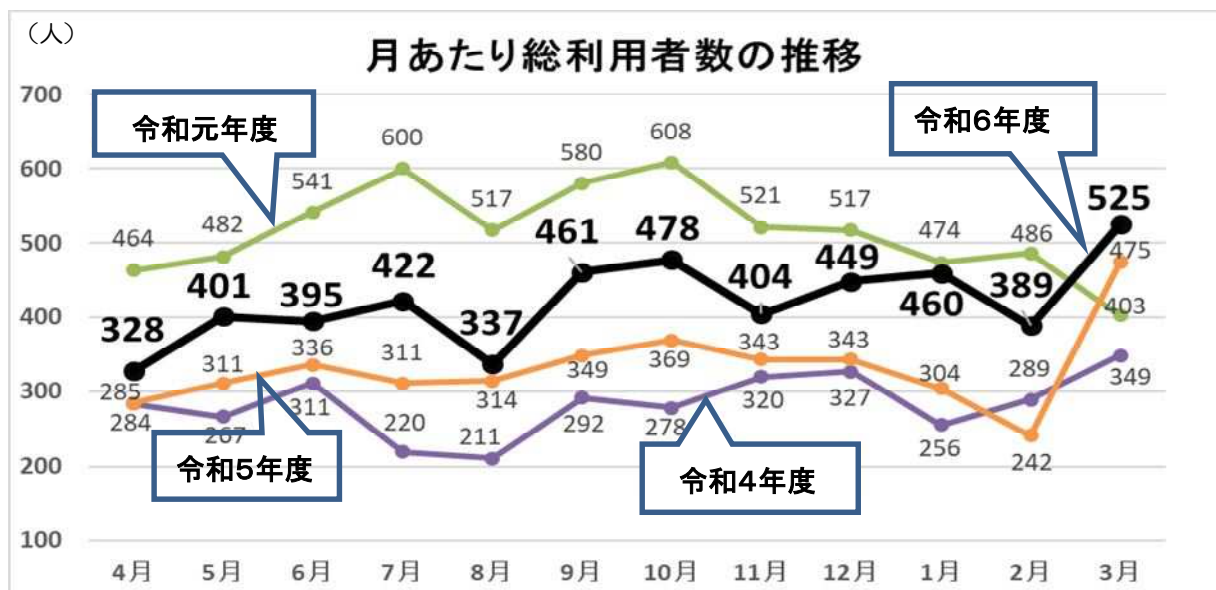
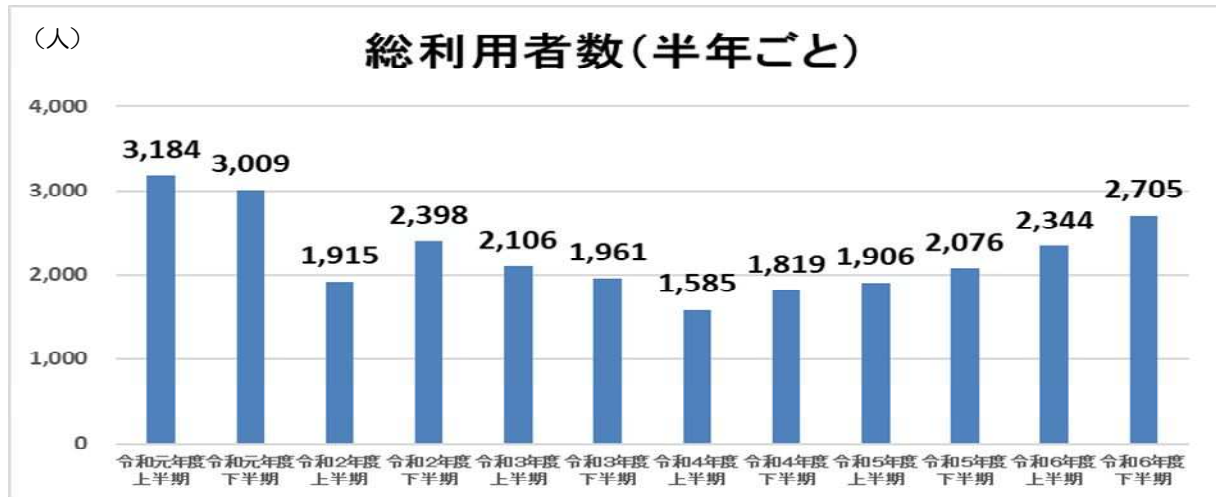
(6)「柿の里バスニュース」の発行

石巻・嵩山・西郷・玉川・賀茂・下条・鷹丘の各校区にキャンペーンの情報や運行ダイヤ等を記載した、「柿の里バスニュース」を回覧

【実施期間】令和6年4月～令和7年3月で9回 通算146号まで発行

2 利用者数の推移

令和6年度の利用者数は、前々年度比約148.3%、前年度比約126.8%と増加傾向となっている。今後も利用促進イベントの実施やバスニュースの配布等で更なる周知を行い、新ルートの定着や新規利用者の開拓を図る。



3 令和7年度の取組について

(1) 利用促進イベント・キャンペーンの実施

新ルートの定着及び新規利用者を獲得するため、地元の特産品を活用したバスツアーなどの利用促進イベントやキャンペーンを積極的に実施する。

(2) 柿の里バスニュースの継続的な発行

利用促進イベントの告知等の柿の里バスに関する情報を掲載した柿の里バスニュースの作成・配布を通じて更なる利用促進を図る。

(3) 収入確保策の実施

新規車両広告やネーミングライツパートナーを獲得し、自主財源の確保につなげる。

表浜地域公共交通推進委員会の取組について

表浜地域公共交通推進委員会

1 令和 6 年度の取組及び実施結果について

(1) 運行内容変更のための協議

なし

(2) 利用促進の取組

①推進委員会委員への情報周知（4 月、5 月）

推進委員会全委員へ各校区別の利用状況の推移・特徴等を周知し、更に地域住民へ利用促進の広報活動を依頼した。

②役員会議の開催（5 月）

現行の利用状況報告と運行内容に対する要望等について意見交換を行った。

③民生委員・関係団体等との連携（5 月）

実際に利用される可能性が高い方へ周知を図るため、民生委員会へ参加し、情報提供、意見交換を行った。

④愛のりくん通信の発行（1 1 月、2 月）

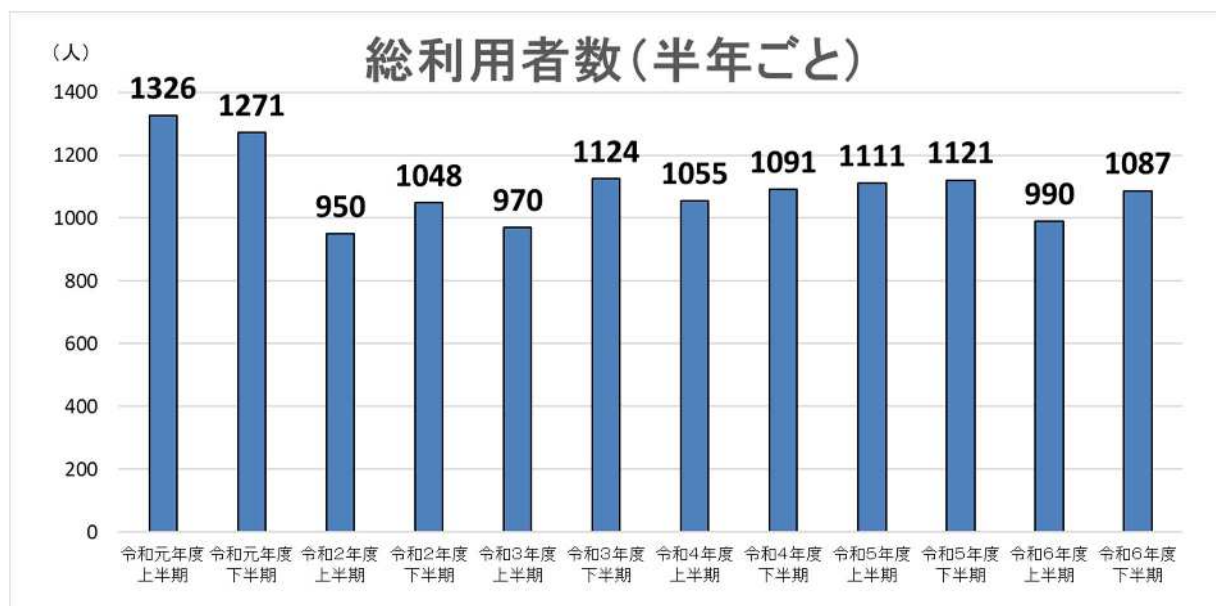
各校区別の利用者数の推移や愛のりくんの利用方法などを記載し、全戸配布した。

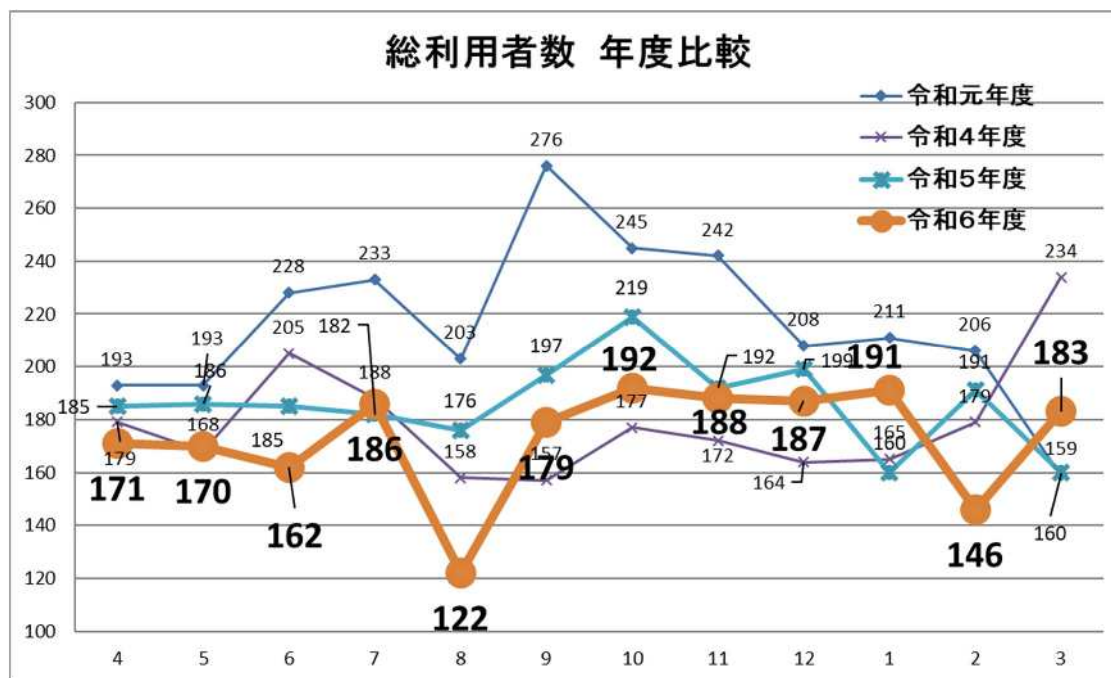
(3) のりば設備の維持・管理

①のりばの劣化状況を確認する一斉点検を実施した。（4 月）

2 利用者数の推移

令和 6 年度の利用者数は、固定利用者が減少したことから、前々年度比約 96.8%、前年度比約 93.1%となった。新規の利用者確保に向けて地道な周知活動を行っていく。





4 令和7年度の取組について

(1) 利用促進施策の推進

- ①民生委員会、老人クラブ役員会へ参加し、意見交換を実施する。
- ②彩幸包括支援センター主催の講座に参加し、利用状況報告と要望を収集する。
- ③町自治会役員会議、その他団体会議へ参加し、PR と情報収集に努める。

(2) のりば設備の維持・管理

のりばの時刻表の剥がれ・劣化状況を定期的に点検・修繕し、運行環境を整備する。

(3) 「愛のりくん通信」の発行

利用状況、利用者の声等を掲載し、年間2回程度各戸配布する。

(4) 利便性向上のための要望事項の検討

- ①地域の要望は地域の運営委員会にて、適切な検討を行う。
- ②需要の見込めるのりばの増設・移設等を検討する。

しおかぜバス運営協議会の取組について

しおかぜバス運営協議会

1 令和6年度の取組及び実施結果について

(1) 「しおかぜバスニュース No. 32-36」の発行

しおかぜバス利用促進に係る告知、利用者に向けた情報を掲載・回覧した。

【記事内容】

- No.32 9.5万人達成キャンペーンについて
- No.33 9.5万人達成キャンペーン結果報告、しおかぜバス利用レポート
- No.34 豊橋まつり臨時運行のお知らせについて
- No.35 10万人達成キャンペーン告知について
- No.36 10万人達成キャンペーン結果報告

【回覧校区】前芝校区・津田校区（清須町、川崎町）に回覧

(2) 豊橋まつり開催日の臨時運行

しおかぜバス運休日である豊橋まつり開催日に、沿線地域に居住する市民が豊橋まつりへ出かけるための移動手段を確保することを目的に、第3便～12便の臨時運行を実施した。

【実施日】令和6年10月19日（土）、20日（日）

【乗車人数】69人

（参考／R1：85人、R2, R3は新型コロナウイルスの影響により豊橋まつりの開催が中止、R4：80人、R5：67人）

(3) しおかぜバス利用者数9.5万人、10万人達成キャンペーンの実施

【9.5万人】

達成日：令和6年8月2日（金）午前（前芝町在住の利用者）

景品内容：達成者（1名）…地元名産品＋しおかぜバス回数乗車券

前後賞（4名）…地元名産品＋しおかぜバス回数乗車券

【10万人】

達成日：令和7年3月6日（木）午前（前芝町在住の利用者）

景品内容：達成者（1名）…地元名産品

前後賞（4名）…地元名産品

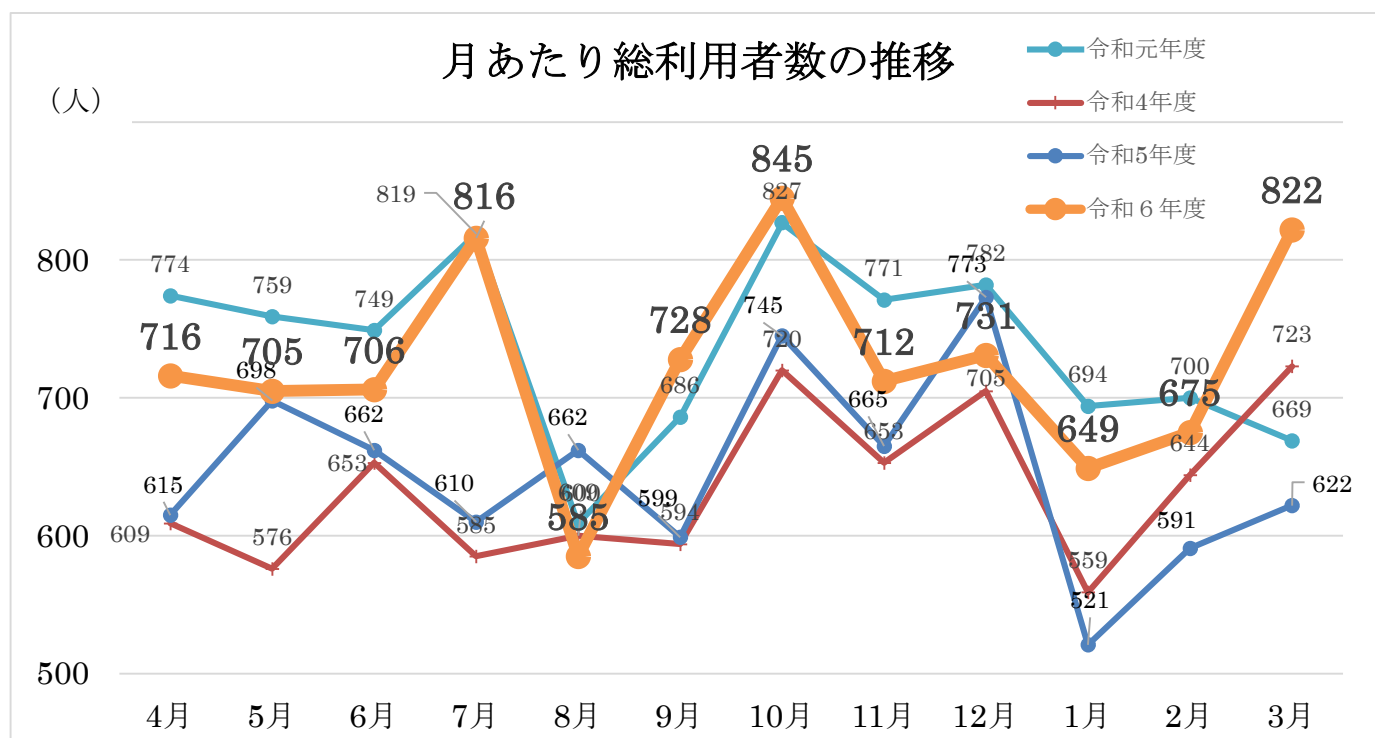
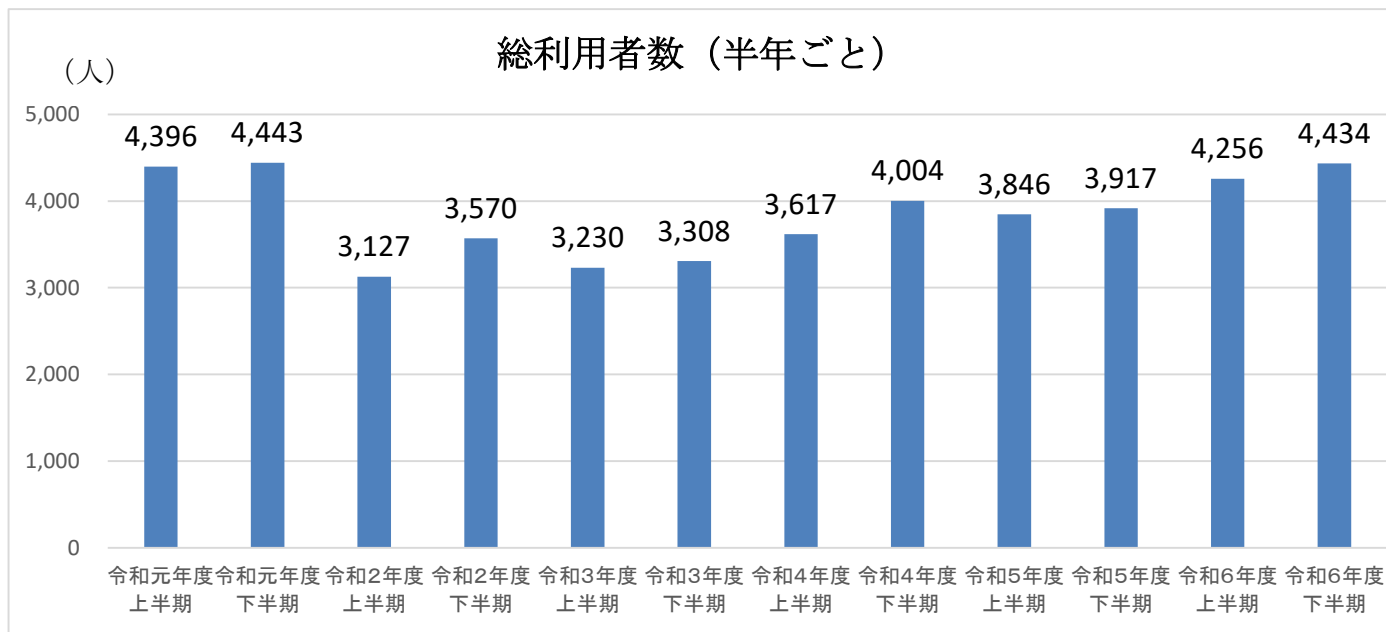
(4) しおかぜバス車両広告の募集

自主財源の確保、地元企業のイメージアップ及び地域経済の活性化を図るため、沿線企業に等に対し車両広告を募集した。

【賛同企業】6社（継続）

2 利用者数の推移

令和6年度の利用者数は、前年度比約111.9%、前々年度比約114%、コロナ前の令和元年度比約98.3%となり、利用者はコロナ前の水準まで回復した。現行の運行体系を維持しながら、さらなる利用者獲得のため、しおかぜバスの利便性の周知活動や、利用促進策に取り組んでいく。



3 令和7年度取組について

(1) しおかぜバスニュースの継続発行

お出かけのきっかけづくりのための沿線施設の紹介や利用促進イベントの告知等、しおかぜバスに関する情報を掲載したチラシを作成し、回覧または各戸配布する。

(2) 豊橋まつり臨時運行便の実施

(3) 感謝キャンペーン等利用促進イベントの実施

かわきたバス運営委員会の取組について

かわきたバス運営委員会

1 令和 6 年度の取組及び実施結果について

(1) 運営委員会の開催状況

開催回数 11 回（うち、総会 1 回、運営委員会 10 回）。
月 1 回程度、開催した。

(2) 「スマイル号通信」の発行

下地・津田・大村校区に、利用促進イベント等の情報を掲載した「スマイル号通信」を回覧。
【実施期間】令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月に 13 回発行、通算 107 号まで発行
(8 月に牛川の渡しツアーや 4 万人達成キャンペーンの様子を掲載した特別号を発行)

(3) 夏休み小学生 50 円バス実施に伴う小学生の乗車運賃無料キャンペーンの実施

小学生の運賃 50 円をかわきたバス運営委員会で負担し、無料とするキャンペーンを実施。
【実施期間】令和 6 年 7 月 20 日～9 月 1 日
【実施結果】49 名 利用

(4) 回数券割引販売の実施

1,000 円の回数券を 200 円割引、2,000 円の回数券を 500 円割引で販売し、かわきたバス運営委員会がその分を負担することで、かわきたバスの利用促進及び新規利用者の発掘を図った。
【実施期間】令和 6 年 6 月 3 日～6 月 21 日※
※月途中で上限に達したため終了
【販売冊数】1,000 円回数券 25 冊、
2,000 円回数券 104 冊

(5) 感謝キャンペーンの実施

かわきたバス利用者に、日頃の感謝として、豊橋市指定のごみ袋とポケットティッシュのセットを配布した。
【実施期間】令和 6 年 11 月～
【配布数】450 セット

(6) 4 万人達成キャンペーンの実施

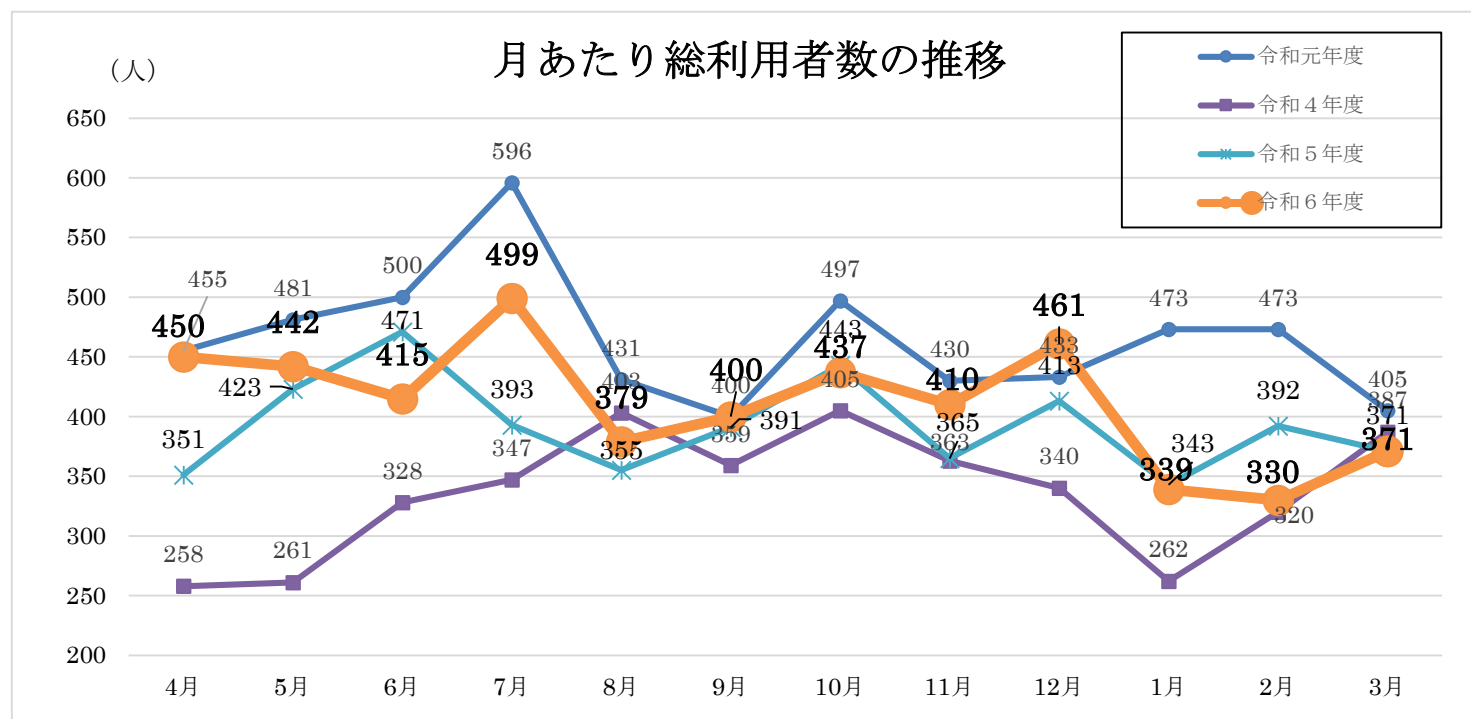
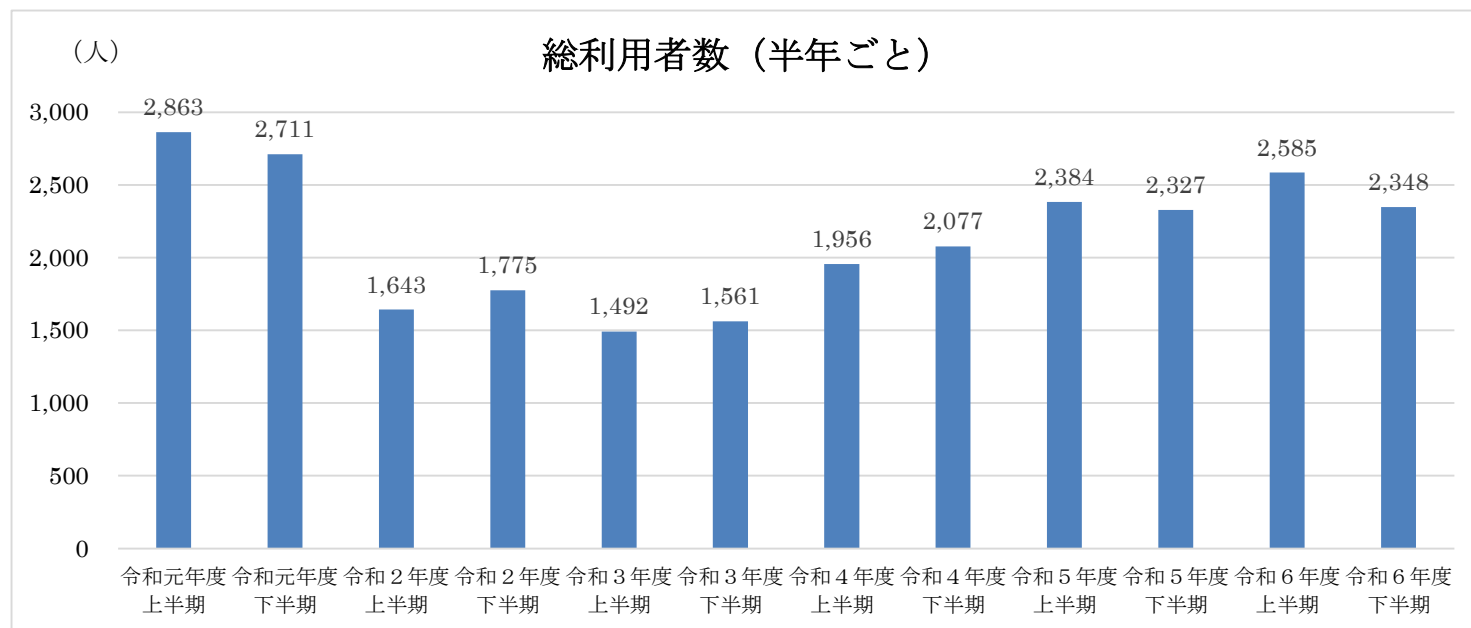
利用者 4 万人目とその前後に乗車した方へ記念品（カタログギフト）を贈呈。津田校区市民館にて 4 万人達成者の表彰式を行った。

(7) 「牛川の渡しツアー」の開催

かわきたバスを利用して大村校区へ向かい、牛川の渡しに乗船したり、長光寺で「一期家一笑」のランチを食べたりしながら、地域の魅力を発見するツアーを開催した。
【開催日】令和 6 年 7 月 23 日、16 日、30 日、8 月 2 日、6 日
【実施結果】5 日間で 30 名が参加

2 利用者数の推移

令和6年度の利用者数は、前年度比約104.7%、前々年度比約122.3%、コロナ前の令和元年度比約88.5%となり、少しずつ利用者は回復傾向にある。令和5年4月から変更した新しいルートへの定着や新規利用者の開拓のため、引き続き周知活動や利用促進策に取り組んでいく。



4 令和7年度の取組について

(1) 年間利用者数 6,000 人、月平均 500 人以上を目標として、前年度までの活動を継続して実施する。

- ①毎月1回の運営委員会を開催する。利用状況の確認や対策等について話し合う。
- ②スマイル号通信の月1回の発行により、スマイル号の魅力や利便性などを伝える。
- ③牛川の渡しツアーを実施するなど、利用促進イベントを実施する。

(2) 地域の活動と連携し、コミュニティバスとしての意義や地域活性化のために努力する。

スマイル号の継続と発展のために、3校区の自治会活動との連携を図る。